



大阪府立弥生文化博物館 平成23年度冬季企画展Ⅰ

# 子規の叔父「加藤拓川」が残した絵葉書

## 明治を生きた外交官の足跡



2011 12/3 sat. ▶ 2012 1/29 sun.

テーマを替え、二回に分けて展示を行います


【第1期】2011 12/3(土) ▶ 25(日) 【第2期】2012 1/5(木) ▶ 29(日)



主催：大阪府立弥生文化博物館 後援：泉大津市・泉大津市教育委員会・和泉市・和泉市教育委員会  
協力：正岡子規研究所・梅原章一写真事務所・新日本海フェリー株式会社・日本クルーズ客船株式会社

- 【開館時間】 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 【休館日】 毎週月曜日(ただし1月9日(月・祝)は開館)、12月26日(月)～1月4日(木)、1月10日(火)
- 【入館料】 一般 400円、65歳以上・高大生 300円 ※中学生以下、障がい者手帳をお持ちのかたとその会費者1名は無料 ※20名様以上の団体は2割引

12月24日(土)・25日(日)にご来館のかたには、ささやかなクリスマスプレゼントを進呈します。

 大阪府立弥生文化博物館  
Museum of Yayoi Culture

写真・企画：梅原章一 デザイン：株式会社アパ/シヤルド



# 加藤拓川が残した絵葉書に見る当時の世界情勢や西洋の世相

正岡子規の叔父として司馬遼太郎原作『坂の上の雲』にも登場するバリの外交官・加藤恒忠(号 拓川)は司馬氏をして「拓川の生涯は友人を作るためにあった」と言わしめたくらい幅広い交友に生きた人であった。その証として、数多くの書簡や写真、数千枚の絵葉書がアルバムに残されていた。後にベルギー公使として、日露戦争前後をロシアや英、仏、独など列強諸国に近いブリュッセルに駐在したこともあって、この小説に登場する軍人や外交官、芸術家などの絵葉書も多数含まれている。また、拓川の妻ひさは、駿河台の広大な

敷地に山籠堂病院を建て、明治天皇の侍医でもあった櫻村清徳の長女であり、外交官夫人として欧州の華やかな社交界に身を置いていたため、その交友を物語るひさ宛の葉書も多数ある。折しも、ドイツで始まった絵葉書のブームは、世紀末の欧州を席捲し、一方日本では日露戦争の勝利で空前のブームを巻き起こした時期と重なる。アールヌーヴォーやエンボス(浮きだし加工)の技術を駆使したこれらの絵葉書をとおして、当時の世界情勢や日本と欧州の世相を、写真や美しいイラストで垣間見ることができる。



正岡子規 子規庵にて撮影



1906年 加藤拓川の妻ひさ



加藤恒忠(拓川)



加藤拓川の絶筆の書簡の下で 写真の左から、大岡昇平、おやまひろし、正岡忠三郎、司馬遼太郎(講談社発行「子規全集編集会議」)



2011

【講演会】

2012

第1回 12/10 ① 「絵はがき事始め」 生田 誠氏 絵葉書研究家

第3回 1/14 ① 「拓川と子規」 和田 克司氏 大阪成蹊短期大学名誉教授

第2回 12/17 ① 「拓川と明治の人びと」 正岡 明氏 正岡子規研究所

第4回 1/28 ① 「拓川と関西財界人」 大塚 融氏 経営史研究家

場所：大阪府立弥生文化博物館1階ホール 時間：午後2時～4時 定員：170名(当日先着順 午後0時30分から整理券配付・午後1時30分から受付) 参加費：無料(要入館料)

【正岡 明氏(所蔵者)による展示解説】 2011 12/3 ①・17 ①・2012 1/14 ① 時間：午前11時～

次回予告 / 冬季企画展Ⅱ 2月4日(土)～3月20日(火)

とんぼ玉100人展 ―ガラスの中の夢幻―

エジプトやメソポタミア地方から中国を経て、弥生時代に日本に伝わったとんぼ玉。その小さな球体のなかに繰り広げられる世界は、まさに夢幻。現代とんぼ玉作家の作品を全国から公募し、展示します。

【電車をご利用の場合】

JR阪和線「信太山」駅下車 西へ約600m  
南海本線「松ノ浜」駅下車 東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】

JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(おおとり)駅で普通電車にお乗換えください。大阪駅からお越しの場合は「関西・紀州路快速」をご利用になると便利です。鳳から3駅目が信太山(しのだやま)駅です。

【車をご利用の場合】

国道26号「池上町」交差点南西角  
P普通車72台(無料)



大阪府立弥生文化博物館  
Museum of Yayoi Culture

〒594-0083 大阪府和泉市池上町4丁目8-27  
TEL.0725-46-2162 <http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>